

「補装具の試験評価」…F 会場

義肢装具・座位保持装置は障害児や障害者、高齢者が安全に安心して使用できるものが重要です。そのためには、義肢装具や座位保持装置の機能、強度、耐久性などについての確認が必要になります。このために試験評価の規格の策定、試験方法や試験装置の開発、試験の実施が必要になり、これらの試験評価に関する研究を進めています。

- ・ 規格・基準の作成
- ・ 座位保持装置関係では厚生労働省ホームページに掲載されている「座位保持装置部品の認定基準及び基準確認方法（改訂2版）」の作成・改訂に関与しました。
- ・ 義肢装具や福祉用具関係の日本工業規格（JIS）の作成・改訂に関与しています。
- ・ 義肢装具・座位保持装置などの福祉用具の国際規格（ISO）の作成・改訂に関与しています。
- ・ 試験手法・試験機の開発
- ・ 義足足部歩行繰り返し試験機を開発しました。
- ・ 義足一体構造試験装置を開発しました。
- ・ 座位保持装置用衝撃試験機を開発しました。
- ・ その他、義肢装具、座位保持装置を主に試験手法・装置の開発を行っています。
- ・ 試験評価の実施（実施した試験の例を下記に示します。）
- ・ 義足足部歩行繰り返し試験
- ・ 義足足部の荷重－変形特性の計測
- ・ 下肢装具用足継手、膝継手の3点曲げ試験、繰り返し試験
- ・ 杖先ゴムの耐久試験
- ・ 座位保持装置の各種部品の静的強度試験、耐久試験、衝撃試験